平成 30 年 11 月 8 日

各関係機関長　殿

九州大学大学院人文科学研究院長
佐伯　弘次（公印省略）

助教（特定プロジェクト教員）の公募について（依頼）

このたび、九州大学大学院人文科学研究院では、下記の要領により助教（特定プロジェクト教員）を公募いたします。

本公募は、九州大学の将来構想に基づいて改革を推進する本学独自の制度（大学活性化制度）により、九州大学から支援を受ける取り組みとして構想されたプロジェクトに係るものです。

九州大学の人文社会系４部局（人文科学研究院・人間環境学研究院・法学研究院および経済学研究院）は、２０１８年度から協働して「文系４学部副専攻プログラム」を開始し、教育活動における連携態勢の強化を図っています。（「文系４学部副専攻プログラム」については、http://commons.kyushu-u.ac.jp/をご参照下さい）。

九州大学の人文社会系４部局では、さらに学際的な研究活動における連携を深めるとともに、その取り組みを十全に企画運営していくために、人文社会系の「協働研究教育プラットフォーム（人社系協働研究教育コモンズ）」を新たに構築することとなりました。

本公募では、多分野融合研究を推進するシステムを構築しつつ、独創的に研究を発展させることができる研究者を採用することによって、協働研究活動の強化を図るとともに、学際的な研究と教育の両輪を機能させる態勢を整えることを目指しています。本研究院では、デジタル・ヒューマニティーズの実践に寄与し、学際的な研究を行うことができる人材を求めています。

つきましては、関係各位への周知並びに適任者の推薦について、よろしくお取り計らいくださるよう、お願い申し上げます。

記

1	募集人員	助教（特定プロジェクト教員）　1 名
2	募集分野	人文学に関わるデジタル・ヒューマニティーズ
3	採用予定日	平成 31 年 4 月 1 日
4	応募資格	(1) 以下のいずれかに該当する者 ①人文学もしくは情報学を専門とし、デジタル・ヒューマニティーズの実践に寄与する者、②デジタル・アーカイブの経験がある者、③歴史学の分野において、データサイエンスなど、情報学的研究を取り込んだ者 (2)上記と関わる分野で博士の学位を有する者（着任までに取得見込みの者を含む） (3)日本語が堪能である者
5	職務内容	(1)九州大学の人文社会系４部局による「協働研究教育プラットフォーム（人社系協働研究教育コモンズ）」の整備事業に関わり、学際的研究をコーディネートすること (2)人文科学研究院における上記分野に関する教育・研究 (3)その他、人文科学研究院の運営に関する業務
6	任期	3 年間。さらに最長 2 年間の延長をする場合がある。
7	給与	国立大学法人九州大学特定プロジェクト教員等給与規程による
8	提出書類	(1) 履歴書（写真添付）［別紙様式 1］1 部

(2) 業績一覧［別紙様式 2］1 部
(3) 主要業績 3 点
(4) これまでの研究・教育の概要（日本語で 1200 字程度、様式随意、研究活動に使用可能な言語についても言及すること）1 部
(5) 着任後の活動に関する具体的な計画（日本語で 1200 字程度、様式随意）1 部
(6) 応募者についての意見をうかがうことができる方１名の氏名、所属、メールアドレス

9　応募締切　　平成 31 年 12 月 10 日（月）必着

10　書類提出先

〒819-0395
福岡市西区元岡７４４
九州大学人文社会学系事務部総務課庶務第 1 係
　人社系協働研究教育コモンズ企画運営室設置準備委員会委員長　村上裕章　宛

※郵送の場合は書留郵便とし、封筒の表面に「人社系協働教育コモンズ特定プロジェクト助教公募書類」と記載のこと。

11　照会先　　E-mail：kokusai99@lit.kyushu-u.ac.jp

12　その他
(1) 原則として応募書類は返却しません。返却を希望する場合は、その旨を明記の上、返信用封筒（切手添付）を同封のこと
(2) なお、選考過程において面接を行うことがあります。その際の旅費等は、応募者にて負担のこと
(3) 九州大学では、男女共同参画社会基本法（平成１１年法律第７８号）の精神に則り、教員の選考を行います。
(4)九州大学では、「障害者基本法（昭和４５年法律第８４号)」、「障害者の雇用の促進等に関する法律（昭和３５年法律第１２３号)」、および「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（平成２５年法律第６５号)」の趣旨に則り、教員の選考を行います。

様式１

履　歴　書

２０〇〇年〇月〇日現在

ふりがな　　oooo oooo
氏　　名　　〇〇 〇〇
生年月日　　１９〇〇年〇月〇日　　写　真
現 住 所　　〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇　　（4×3㎝）
電　　話　　〇〇〇〇〇
ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ　　oooo@oooooooo
現 職 名　　〇〇〇〇〇

学　　歴

〇〇〇〇年〇月　〇〇高等学校卒業
〇〇〇〇年〇月　〇〇大学〇〇学部〇〇学科卒業
〇〇〇〇年〇月　〇〇大学大学院〇〇研究科修士課程入学（〇〇学専攻）
〇〇〇〇年〇月　同上修了
〇〇〇〇年〇月　〇〇大学大学院〇〇研究科博士課程進学（〇〇学専攻）
〇〇〇〇年〇月　同上修了（または中途退学、単位取得退学）

学　　位

〇〇〇〇年〇月　修士（〇〇）または〇〇修士
〇〇〇〇年〇月　博士（〇〇、〇〇大学）または〇〇博士（〇〇大学）

職　　歴

〇〇〇〇年〇月～〇〇〇〇年〇月　日本学術振興会特別研究員DC
〇〇〇〇年〇月～〇〇〇〇年〇月　〇〇大学〇〇学部特別研究員
〇〇〇〇年〇月～現在　　〇〇大学〇〇学部非常勤講師

所属学会

〇〇学会（〇〇〇〇年〇月～）
〇〇学会（〇〇〇〇年〇月～）

学会及び社会における活動

〇〇〇〇年〇月～〇〇〇〇年〇月　『〇〇〇〇』編集委員

賞　　罰

〇〇〇〇年〇月　〇〇賞受賞

様式２

業　績　一　覧

Ⅰ　著　書

１　単著『書名』

（○○○頁、出版社名、刊行年月）

２　共著『書名』

（○○～○○頁、共著者または編集者名、出版社名、刊行年月）

３　単著『書名』〔博士学位論文〕

（○○○頁、出版社名、刊行年月）

Ⅱ　論　文

１　単著「論文名」

（『掲載誌名』○巻○号、○○～○○頁、発行機関名、刊行年月）

２　単著「論文名」

（『掲載書名』○○～○○頁、編集者名、出版社名、刊行年月）

３　単著「論文名」〔博士学位論文〕

（学位授与大学名、○○頁、学位授与年月日）

４　共著「論文名」

（『掲載誌名』○巻○号、○○～○○頁、共著者名、発行機関名、刊行年月）

Ⅲ　その他

１　単著「題名」

（『掲載書名』、○○～○○頁、出版社名、刊行年月）

２　単著「題名」

（『掲載誌名』○巻○号、○○～○○頁、発行機関名、刊行年月）

３　単独訳「題名」

（原著者名、原著書名、『掲載書名』、○○～○○頁、出版社名、刊行年月）

４　共同訳「題名」

（原著者名、原著書名、共同訳者名、掲載書名、○○～○○頁、出版社名、刊行年月）

Ⅳ　学会発表

１　単独発表「発表題目」（招待講演）

（大会名称、主催学会名、開催地名、開催年月日）

２　共同発表「発表題目」

（共同発表者名、大会名称、主催学会名、開催地名、開催年月日）

Ⅴ　科学研究費補助金等の取得状況

1　研究種目「研究課題名」

（研究代表者・分担者、研究期間、配分額）

【記入要領】

1　学歴

①　高等学校卒業以降の学歴をすべて記入する。

②　研究生は「学歴」に記入する。

③　年号は西暦で記入する（以下、「業績一覧」も含めて同様）。

2　学位

修士論文・博士学位論文名は「業績一覧」に記入する。

3　職歴

①　職歴はすべてを記入し、職名についても記入する。

②　日本学術振興会の特別研究員は「職歴」に記入する。

③　大学等に専任として就任後の非常勤講師等は記入しない。

4　所属学会

所属学会は国内、国外を問わず、現在所属しているものをすべて記入する。

5　業績一覧

①　研究業績と見なされるものに限り記入する。

②　「著書」、「論文」、「その他」、「学会発表」に分けて、それぞれ発表年月順に記入する。「著書」は単行本として刊行されたもので、「論文」は逐次刊行物に掲載されたものである。「その他」は、翻訳、論説、解説、解題、書評、調査報告などの研究業績である。なお、査読の有無、招待講演、主要論文に対する被引用数などの付加情報があれば記載すること。

③　印刷中もしくは掲載受理証明書を得たものは、その旨を明記のうえ一覧に掲げる。

④　すべて「単著」か「共著」か、あるいは「単独発表」か「共同発表」かの区別を冒頭に記入する。

⑤　「博士学位論文」は、著書として刊行された場合は「著書」に、未刊行の場合は「論文」に、〔博　　士学位論文〕と附記して記入する。